

# photopos 12

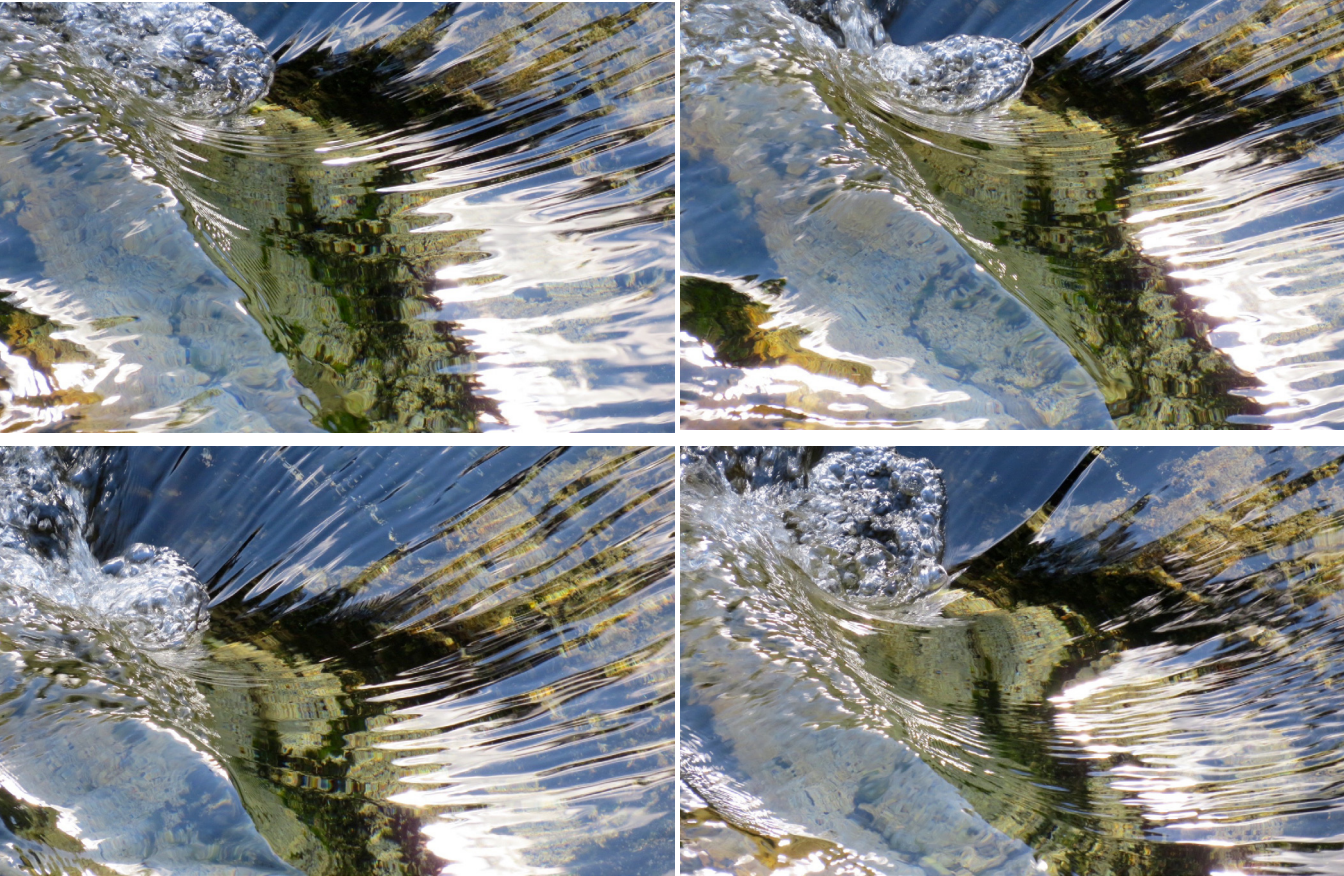
2015.6.8 ~ 2015.7.3

【神秘学ポエジー～風遊戯 第24集】

photo ヴァージョン

神秘学遊戯団

photopos-276  
2015.6.8



星が生まれるように  
夢は生まれ  
物語ははじまる

物語は渦を巻き  
さまざまな形を成し  
光とともに色を放ち  
はらかな旅へとむかう

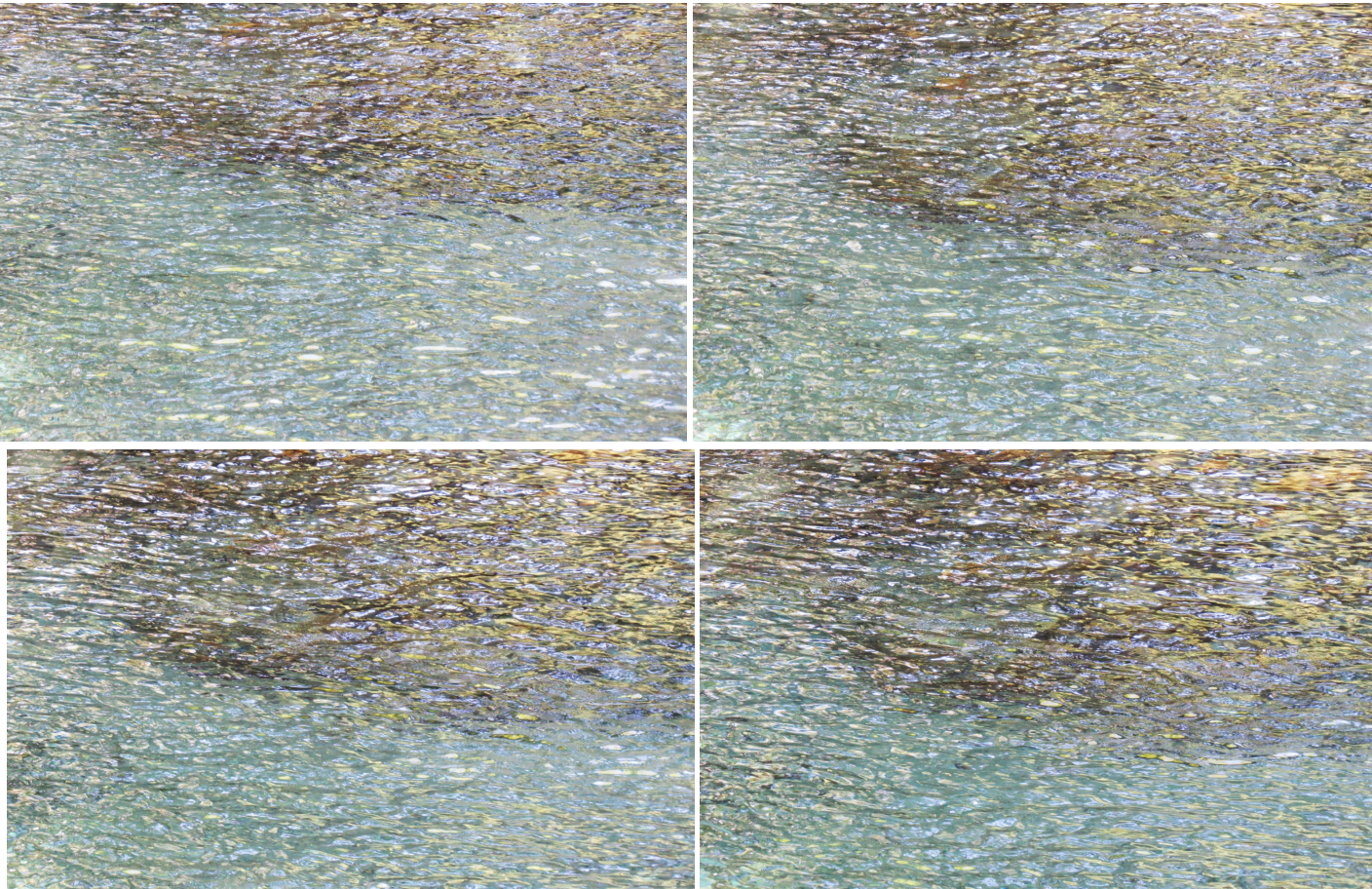
遠い旅  
はてなく続く道  
失われた楽園  
砕かれた夢  
得られぬ愛

楽園を求めるならば  
永遠を生きることだ  
夢を追うならば  
まず夢みることだ  
愛を求めるならば  
まず愛することだ

はじまりと終わりが  
繰り返し演じられてゆく  
永遠の旅の途上で

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-277  
2015.6.9



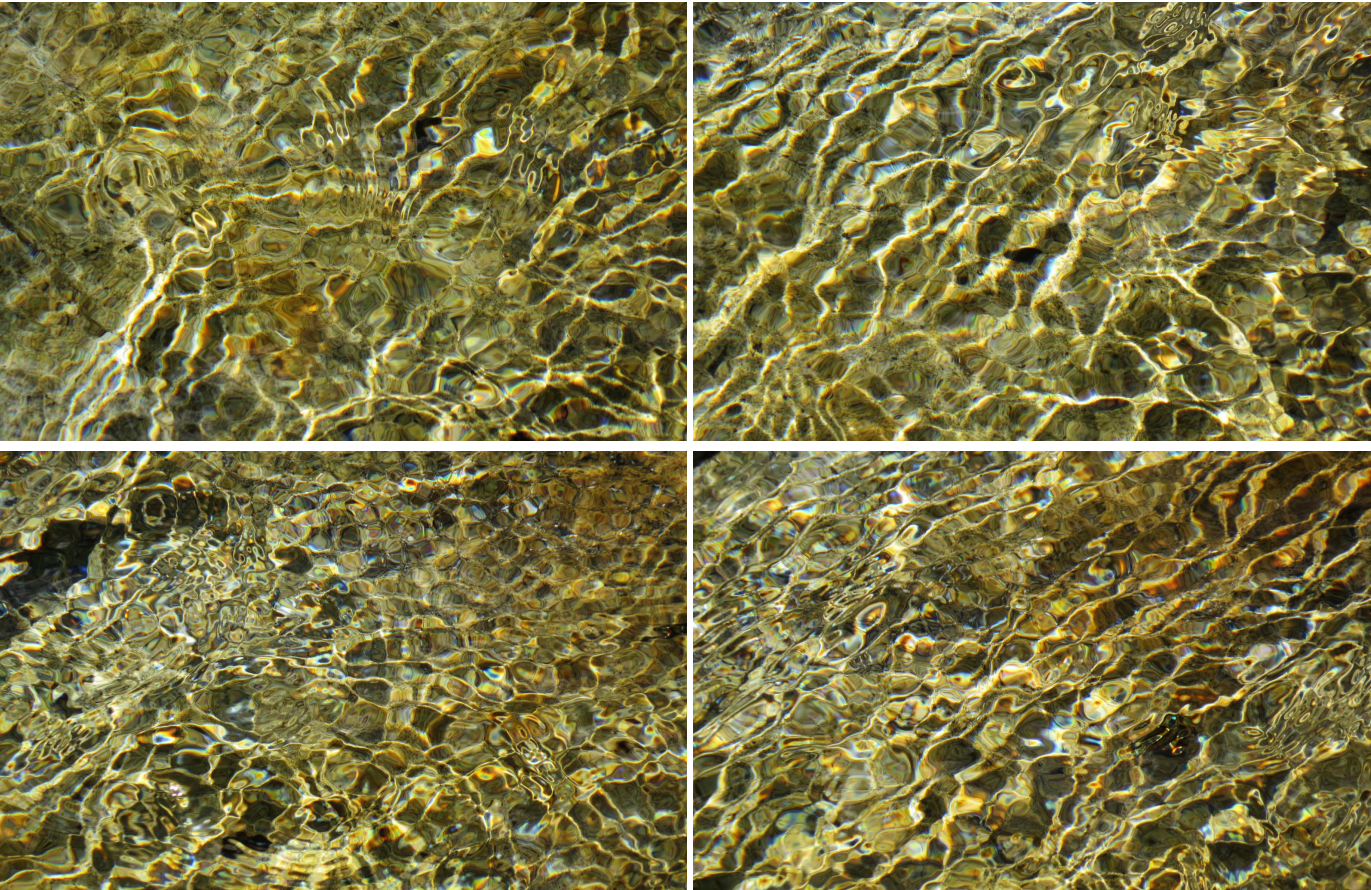
流れているのは  
水ですか  
それとも  
時間ですか

めぐっているのは  
季節ですか  
それとも  
私ですか

彼方から届いた  
光と風の手紙には  
永遠の文字で  
星の秘密が書かれてありました

\* 愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-278  
2015.6.10

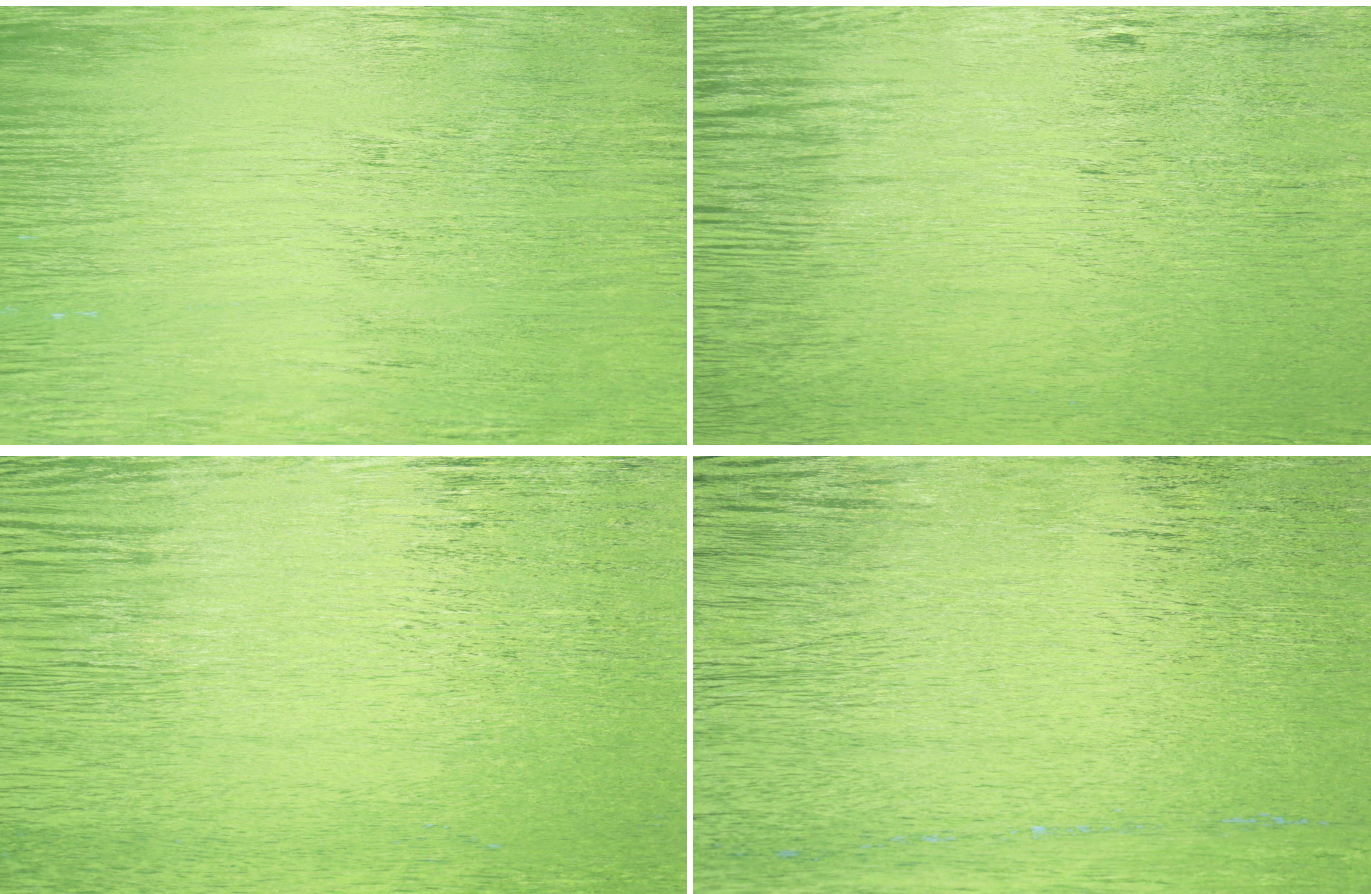


失われた歌を  
取り戻そうと  
旅を続ける私が  
金の魚になって  
泳いでまいりますと  
水の虹から生まれた  
光の珠が  
つぎからつぎへと  
あらわれて  
歌の欠片を  
歌ってくれるのでした

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-279

2015.6.11



もしわたしが  
色になるとしたら  
どんな色になるだろう

もしわたしが  
川になるとしたら  
どんな川になるだろう

もしわたしが  
樹になるとしたら  
どんな樹になるだろう

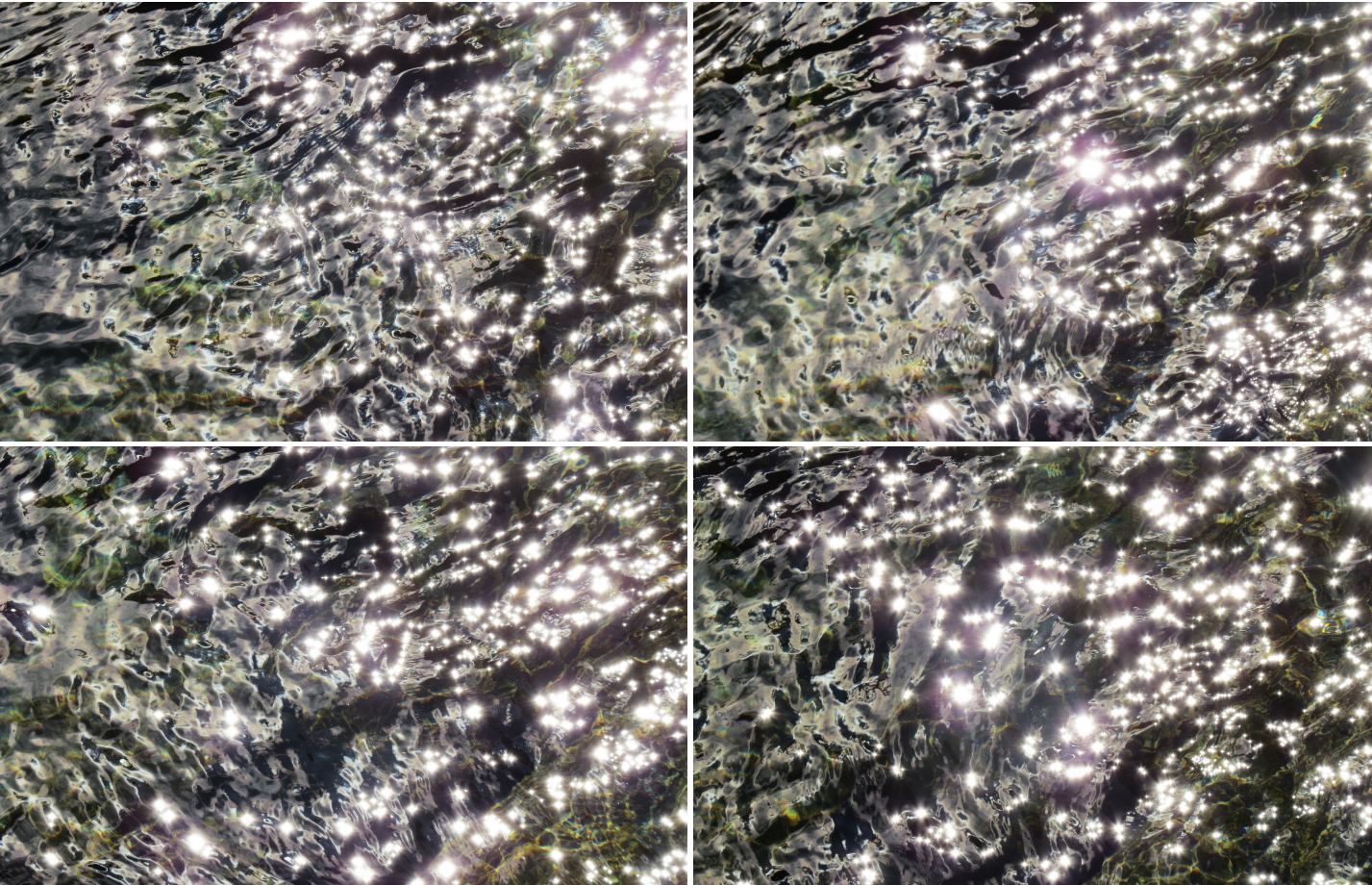
もしわたしが  
鳥になるとしたら  
どんな鳥になるだろう

もしわたしが  
空になるとしたら  
どんな空になるだろう

もしわたしが  
星になるとしたら  
どんな星になるだろう

\*高知県仁淀川町・仁淀川上流・久喜沈下橋にて

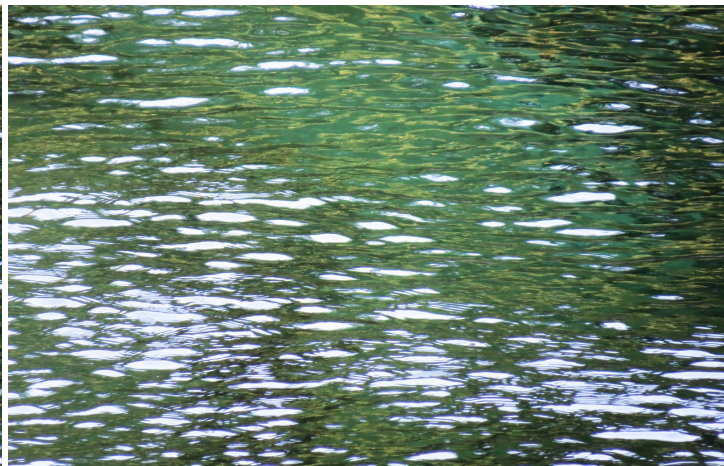
photopos-280  
2015.6.12



水に描かれゆく  
不思議の地図は  
現を彷徨う私を  
何処へ導くのか  
天から降り来る  
光の言葉は歌い  
闇のなかに輝く

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-281  
2015.6.13

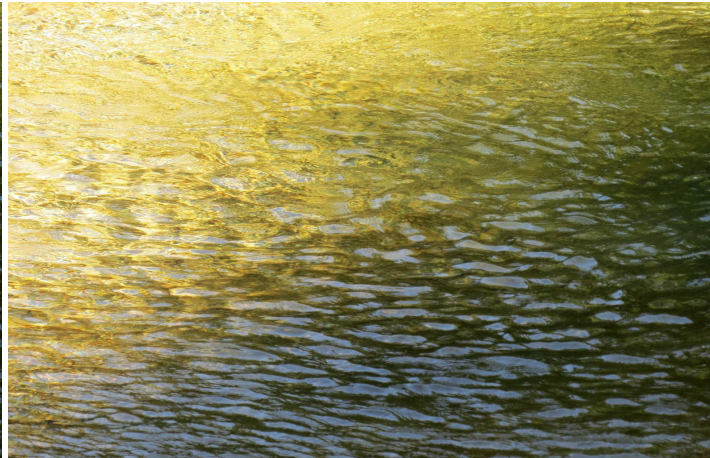
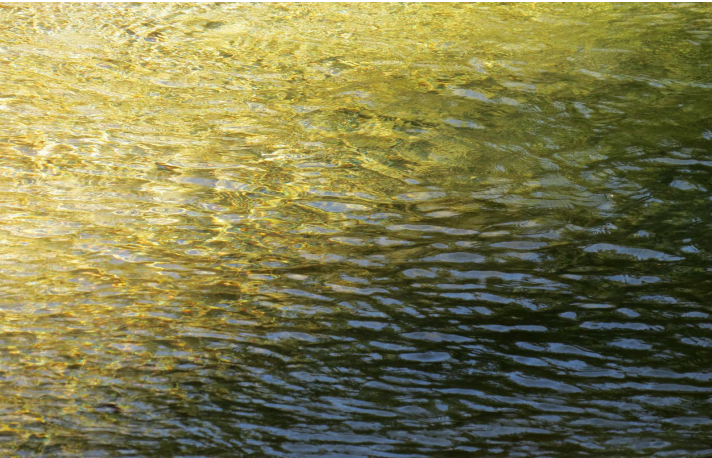


光が色になるときに  
心は色をまといます  
心の衣装は色を変え  
踊る魔法になりまする

風の魔法をとねえれば  
魚も石も踊り出し  
水はいちめん色野原  
心の不思議を紡ぎます

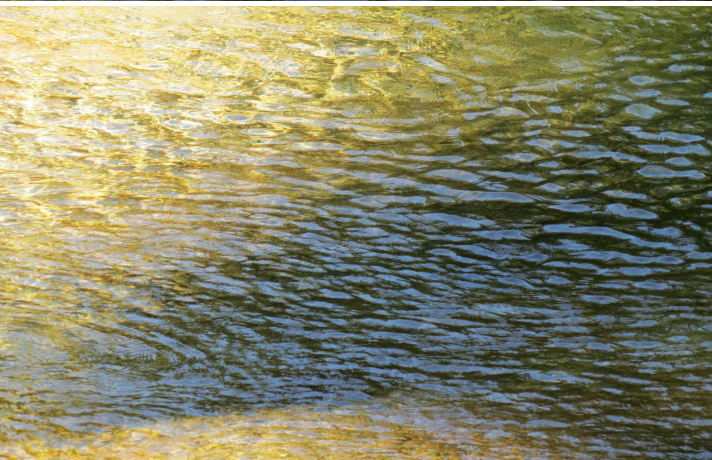
\* 愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-282  
2015.6.15



そろそろ目覚めの時だ  
いやまだ寝かせておいてくれ  
夢と目覚めがせめぎあう

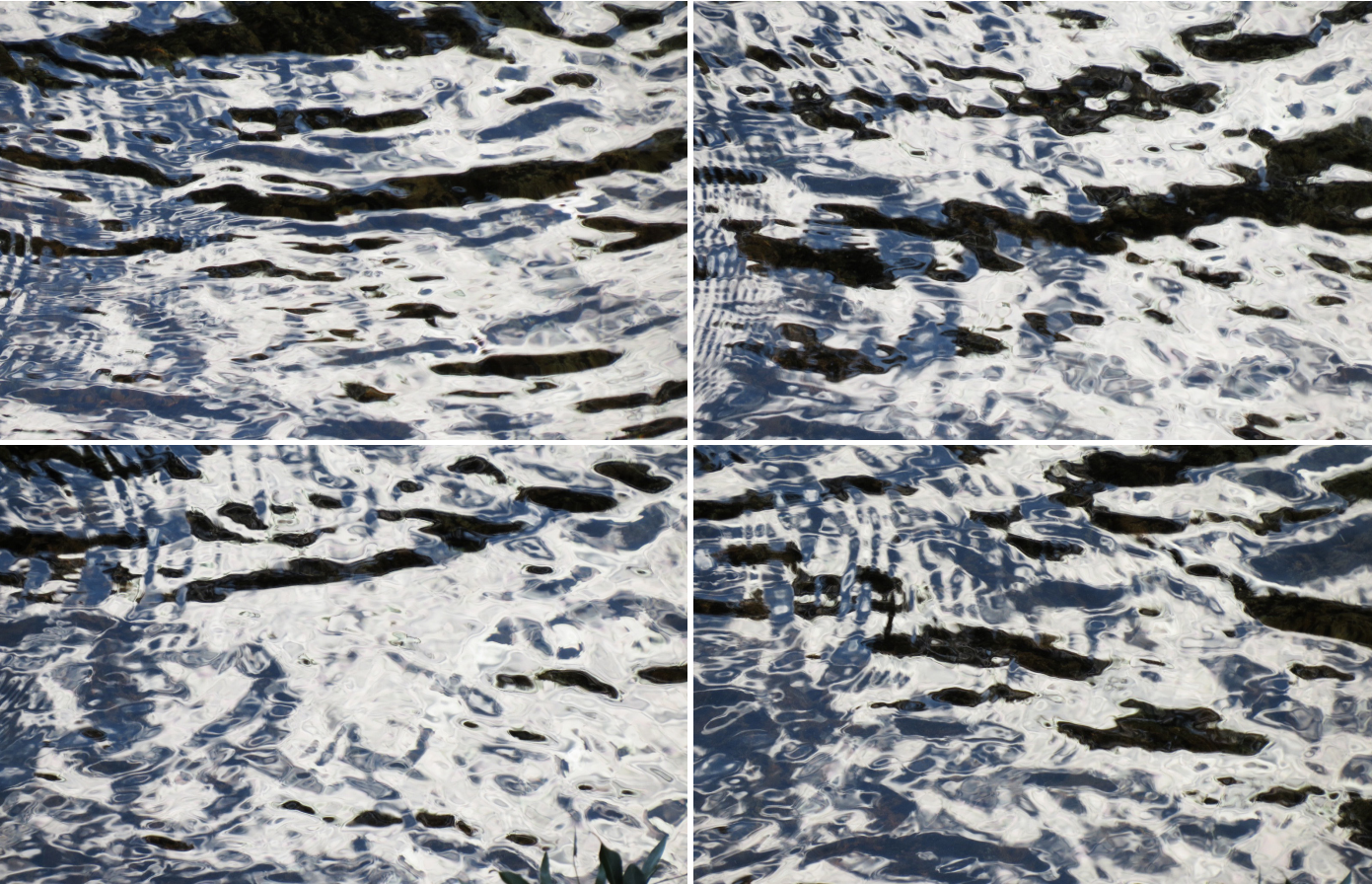
積み重ねられた記憶の地層から  
光と闇の襞を縫いながら  
蘇ってくる魂の絵模様



\*愛媛県久万高原町・面河溪にて



photopos-283  
2015.6.16



なにも考えないということは  
とても気持ちのいいことだ

右のほうから考えがきても  
すーいと左へ流れてゆく

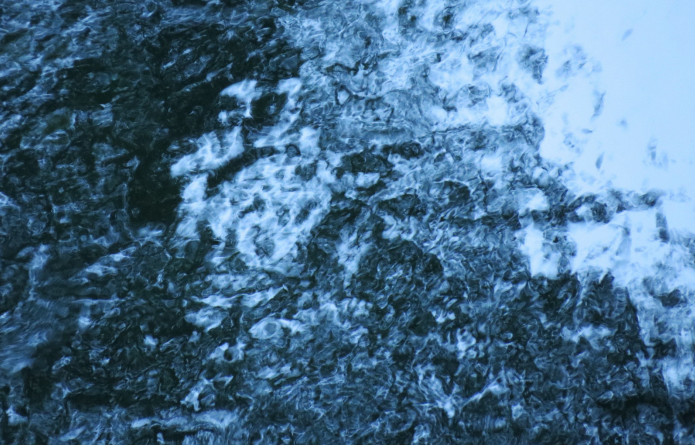
左のほうから考えがきても  
へらへらっと右へと流れてゆく

戦おうという考えも  
戦わないという考えももたず

考えないでいようとさえ思わず  
そんな脳天気でわたしはありがたい

\* 愛媛県久万高原町・面河溪にて

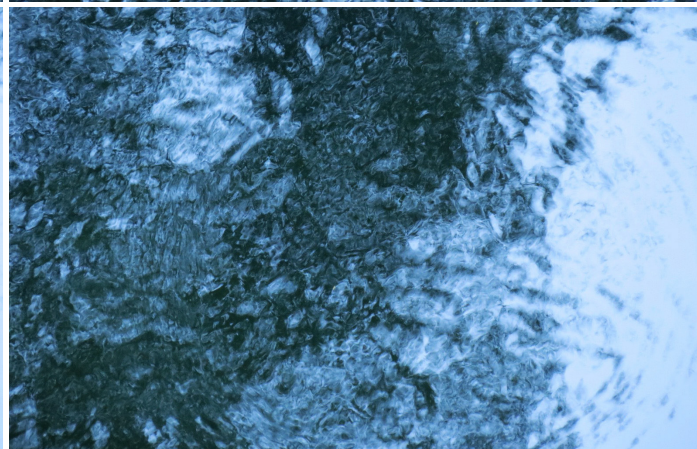
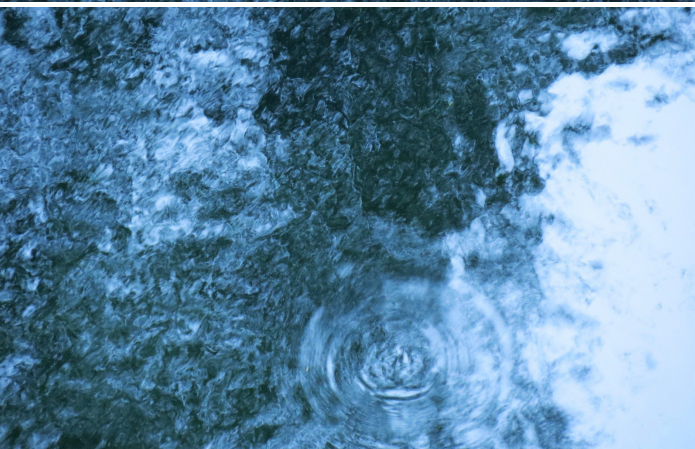
photopos-284  
2015.6.17



深いところに  
叫びがある

何を叫ぶか  
誰が叫ぶか

深いところに  
光の種がある



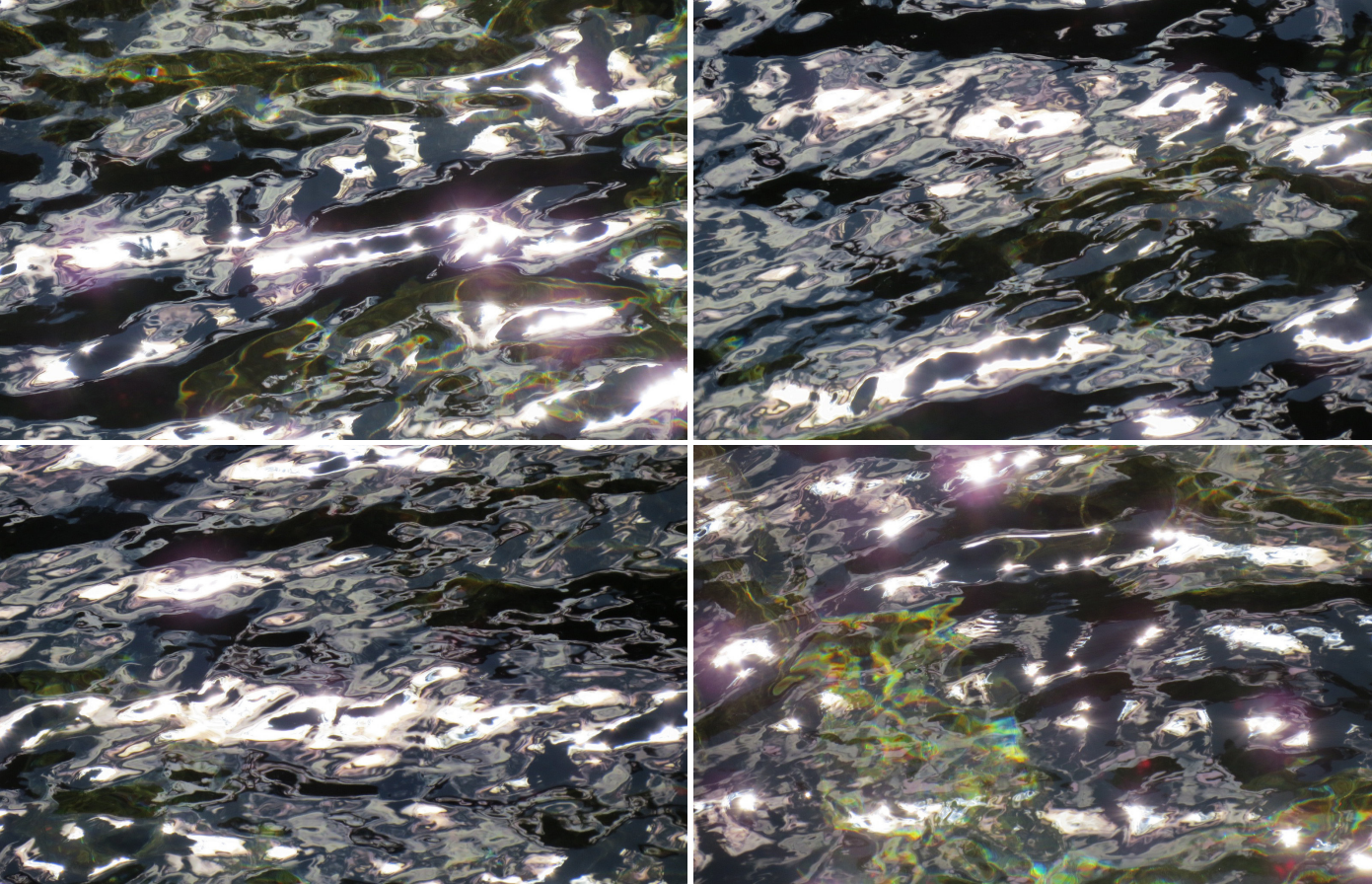
何を照らすか  
誰が照らすか

深いところに  
流れる心がある

何を夢みるか  
誰が夢みるか

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-285  
2015.6.18



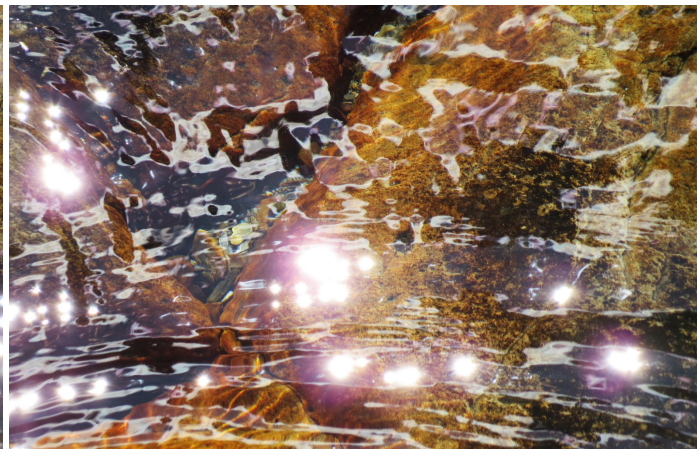
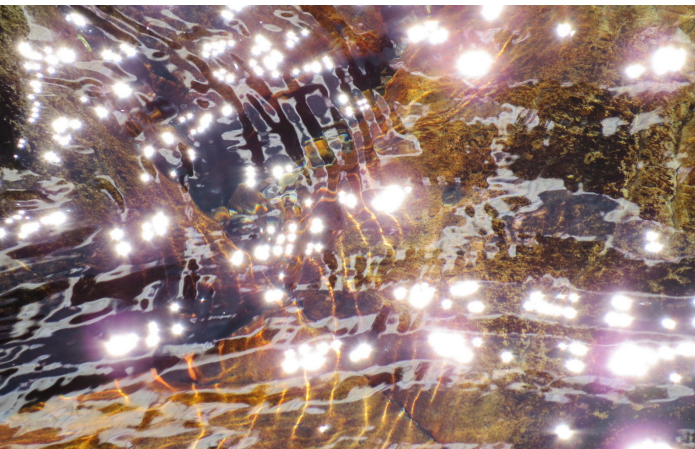
水のなかで点滅しているのは  
あれは私の夢の欠片だろうか

水とともに流れていったのは  
あれは私の歌の欠片だろうか

記憶の彼方で奏でられている

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-286  
2015.6.19



水の街には  
光の遊ぶ場所がありました

光の魚も住んでいて  
いっしょに泳いでいましたら

不思議の声が聞こえてきて  
わたしに語りかけるのです

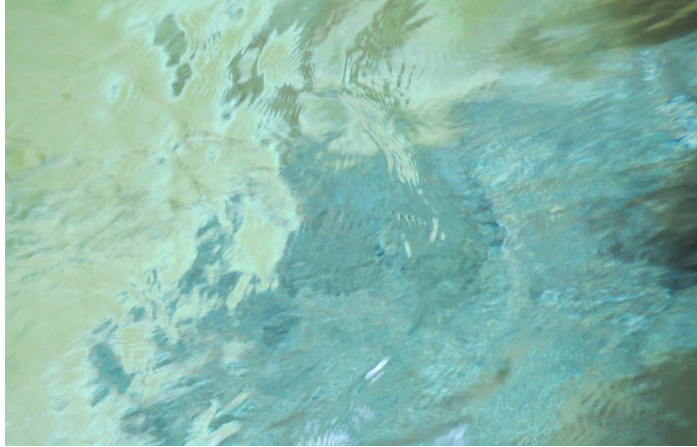
光のことばでしょうか  
魚のことばでしょうか

わたしの知らないわたしが  
それに答えて歌うのです

キラルラルラソノムカシ  
キラルラルラハテシナイ  
キラルラルラタビヨシテ  
キラルラルラウツクシイ  
キラルラルラハナヲミタ  
キラルラルラワスレナイ  
キラルラルラオモイデハ  
キラルラルラソラノハテ

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-287  
2015.6.20



かなしみは水の底  
ふるさとは天の星  
あこがれは花の青

道ゆく人よ明日へ  
愛する人よともに  
友なる人よ永遠に



\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

photopos-288  
2015.6.21



大地の色は土の色  
土はいのちを育て  
夢を見ながら姿を変えて  
光をまとめて歌います

大地の日には  
裸足のままで  
地を踏み鳴らし  
こころのままに踊ります

両手を天に差しだしゆらし  
星に向かって祈ります  
大地の歌を歌います  
大地の祈りを捧げます

\*愛媛県久万高原町・面河溪にて

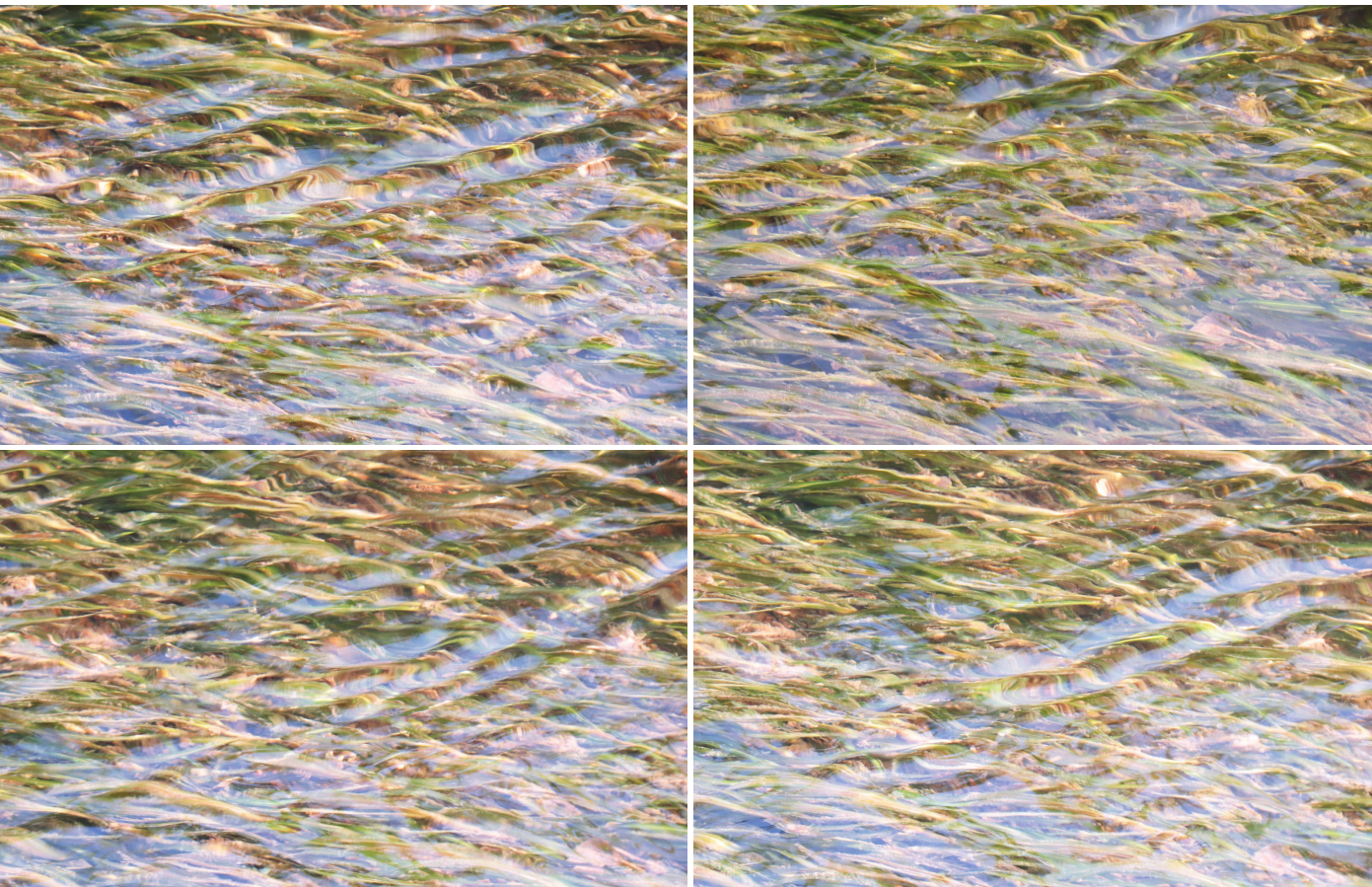
photopos-289  
2015.6.22



ああ今日は  
いい日和だ  
光のなかで  
光はあそび  
空のなかで  
空はあそび  
水のなかで  
水はあそび  
緑のなかで  
緑はあそび  
花のなかで  
花はあそび  
ああ今日は  
あるがまま  
ああ今日は  
いい日和だ

\*高知県四万十市・トンボ王国にて

photopos-290  
2015.6.23



水草は流れているのかい  
いいえ流れているのは水の夢

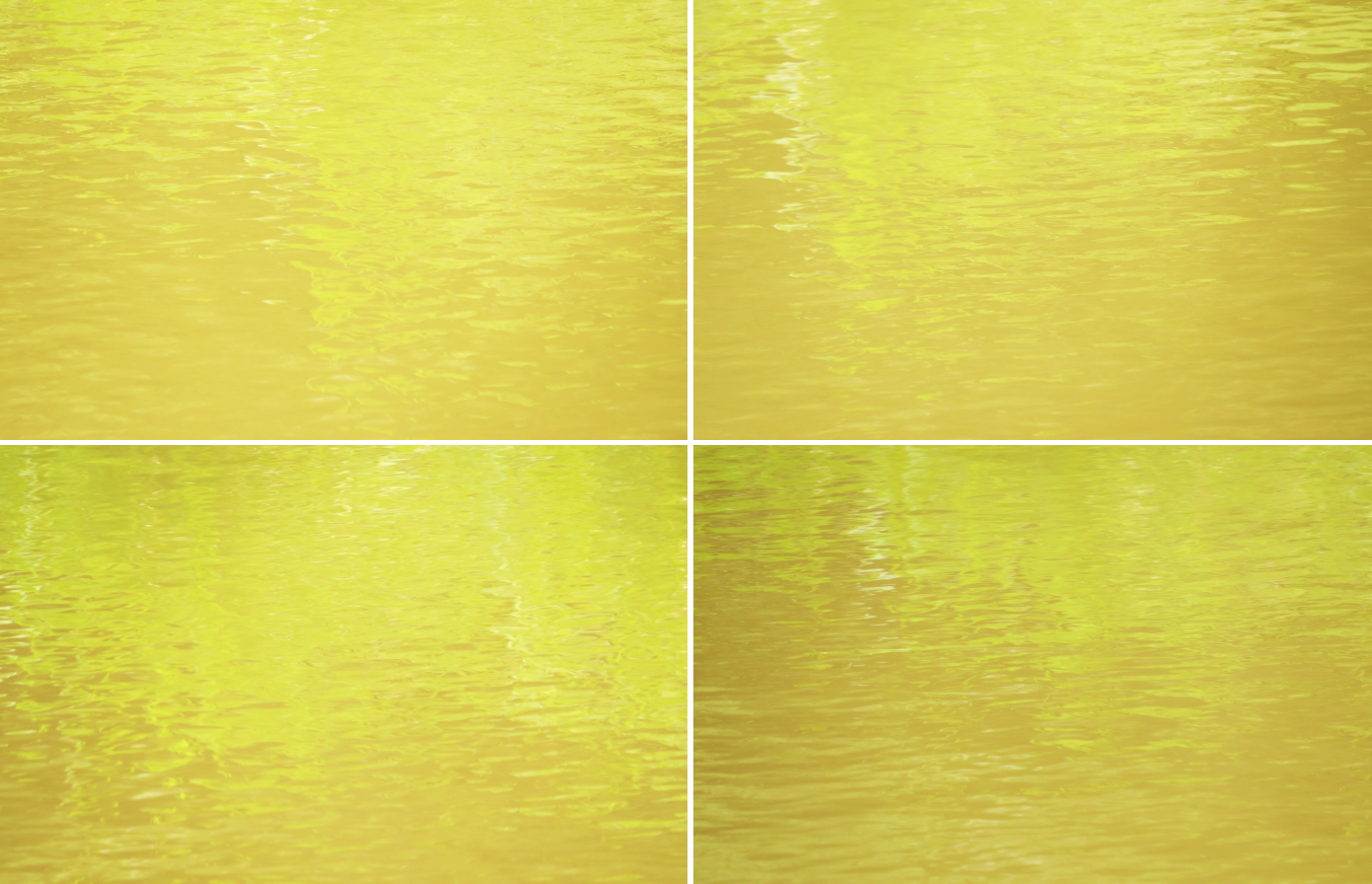
光は歌っているのかい  
いいえ歌っているのは水の声  
光は歌にあわせて踊っているのです

昼下がりの舞台では  
風と鳥を客演に迎え  
水の音楽が奏でられています

\* 高知県四万十市・トンボ王国にて



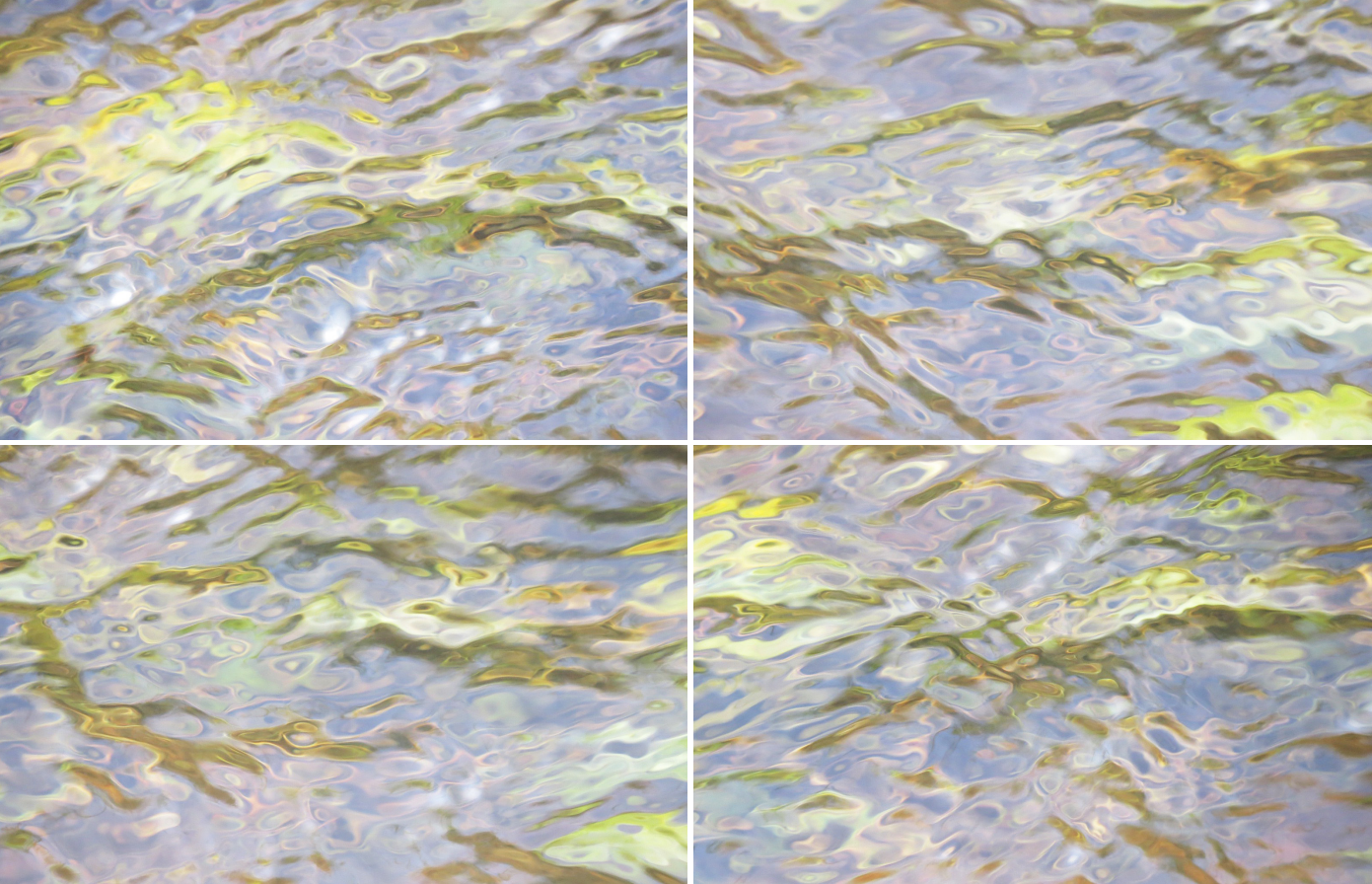
photopos-291  
2015.6.24



光なにを思い  
水なにを映す  
あふれくるは  
わが感情の蜜  
甘き色の画布  
しばし忘れよ  
世のかなしみ  
しばし楽しめ  
とわのしらべ

\* 高知県四万十市・トンボ王国にて

photopos-292  
2015.6.25



妖精たちはどこへ  
いまここに  
ただ見る力を失っただけ

花を樹を  
虫を鳥を  
雲を星を

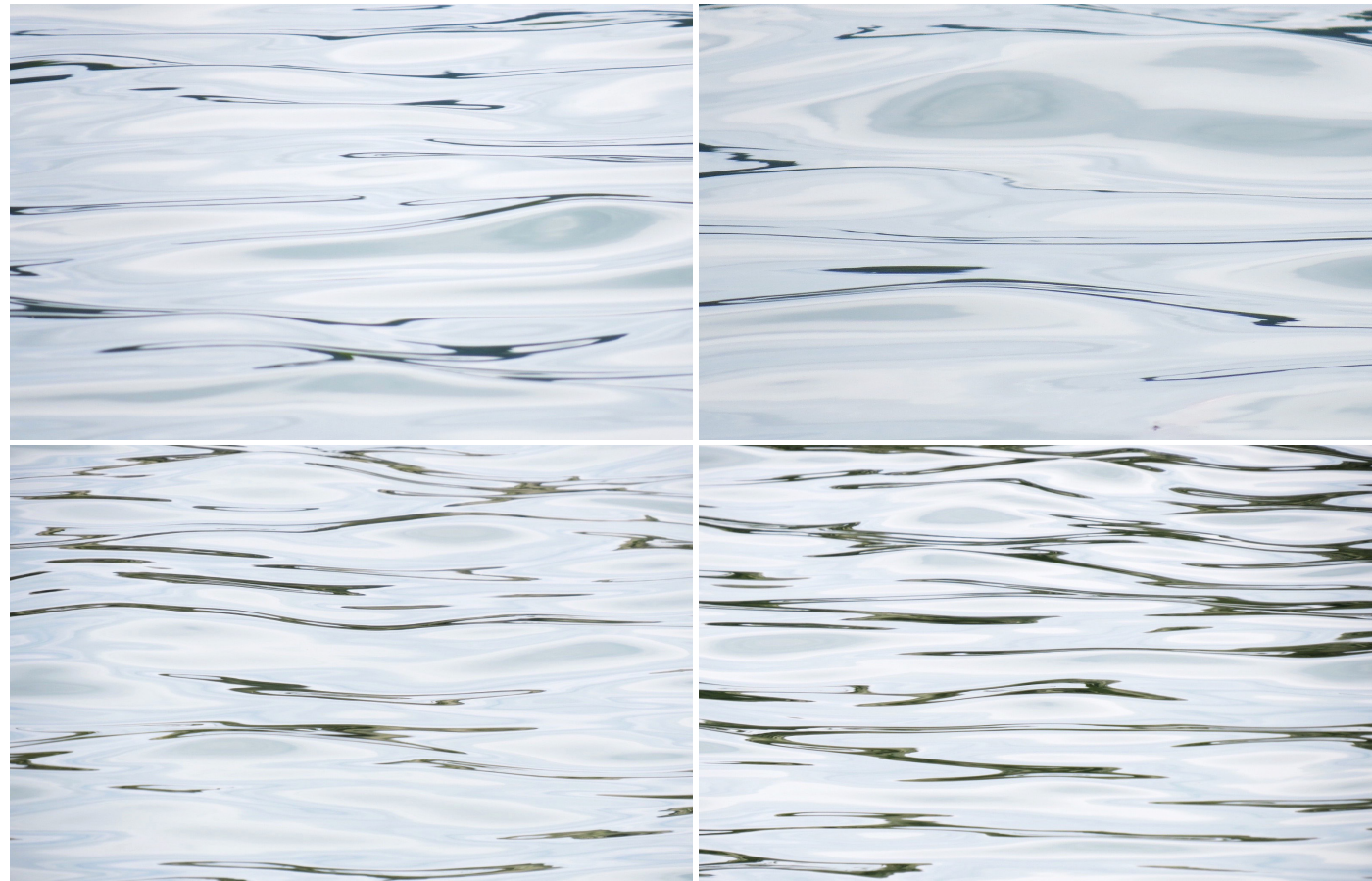
そのほんとうを  
だれも見ようとは  
しなくなったから

花になり樹になり  
虫になり鳥になり  
雲になり星になり

じぶんのなかの宇宙に  
耳をすませるんだ  
妖精たちはいまもここに

\* 高知県四万十市・トンボ王国にて

photopos-293  
2015.6.26



墨のように  
心を流して  
その形をば  
見てみると  
日が一  
日水と  
ともに  
過ごす  
とき  
われが  
水か  
水が  
われか  
われが  
空か  
空が  
われか  
分か  
たれぬ  
不思議  
さよ

\* 高知県仁淀川河口にて

photopos-294  
2015.6.27



黄昏時には  
心のヴェールが  
するりと落ちる

隠していた秘密  
隠されていた記憶  
隠れていた鬼

そしらぬ顔で  
そんなみんなが  
浮かんでくるのだ

黄昏時には  
自分が見えなくなり  
異形の自分が見えてくる

私はみずからに問う  
おまえはだれだ  
誰そ彼が静かに笑っている

\* 高知市・夕暮れの久万川にて

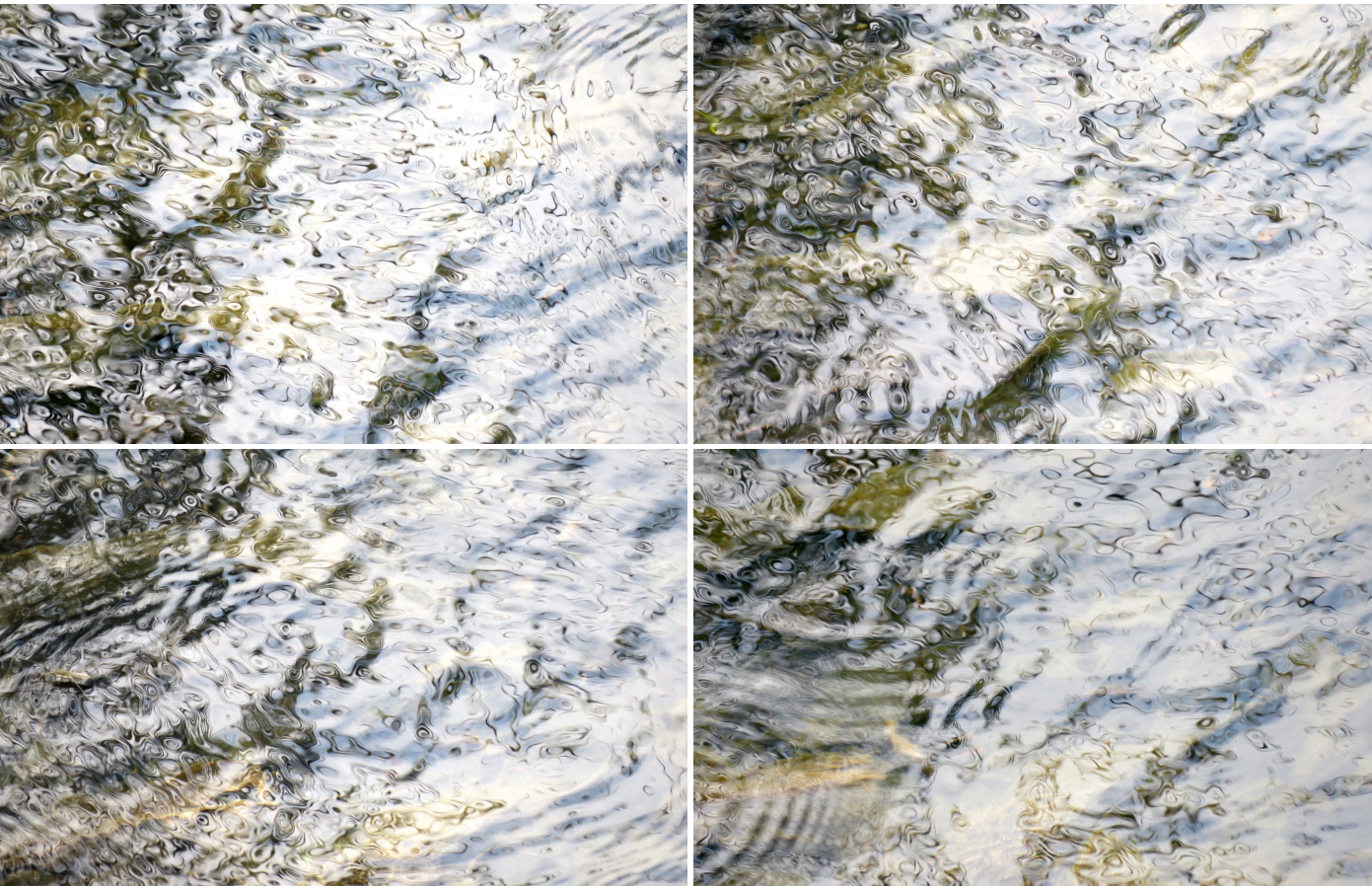
photopos-295  
2015.6.28



沈む石は沈黙し  
水は静かに流れ  
光を溶かし込み  
我はそれを見つ  
語り得ぬものの  
語り得ぬわけを  
沈黙しつつ思う  
心静かなれども  
生の謎は尽きず  
光で身体を包み  
水とともに流れ  
風に自らを預け  
目を閉じて佇む

\* 高知県本山町吉野川にて

photopos-296  
2015.6.29



水と光の乱痴気騒ぎ  
花も緑も魚も虫も  
わらわらわらと騒ぎたて  
せめぎ合ったり分かれたり  
とけて流れて踊ったり  
ぐるぐるぐるとまわったり  
夏のはじまりはせわしく  
物語はまだはじまったばかりです

\* 高知県日高村・めだか池湿地にて

photopos-297  
2015.6.30



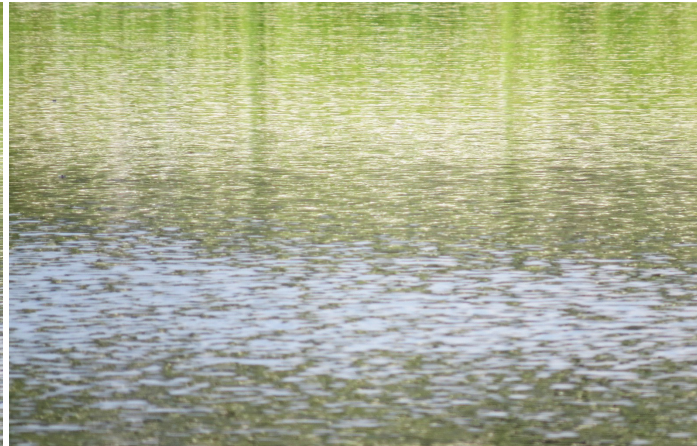
水のなかに空があるように  
私のなかに世界があるのか  
私の水面は風にゆれながら  
光と影をさまざまにうつす

水のなかを魚が泳ぐように  
私のなかには何が泳ぐのか  
私の水は上流より流れ来て  
何を思いどこへと至るのか

水の底に大地があるように  
私の底は何が支えているか  
私という不可解な存在さえ  
受けとめつづける神秘の手

\* 高知県日高村・めだか池湿地にて

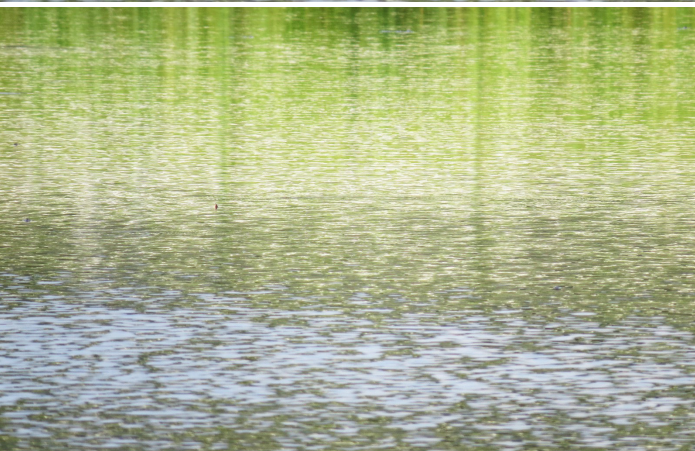
photopos-298  
2015.7.1



光の器をください  
私を受けとめてくれる

水の時間をください  
私を静かにとかしてくれる

樹の歌をください  
私の耳にやさしくひびく



風の言葉をください  
私の秘密を語ってくれる

\* 高知県日高村・めだか池湿地にて



photopos-299  
2015.7.2



鈍色のなかに  
静かな叫びがある

後ろの正面に  
私の知らない  
見えない顔が  
浮かんでいる

また見つかったのか  
永遠が

鈍色の川面で  
後ろの正面を  
太陽が照らす  
夜明けの晩に

\* 高知市・夕暮れの久万川にて

\* ランポー「地獄の季節」

(また見つかったよ！／何がさ？永遠。／太陽に／とろける海さ。)

photopos-300  
2015.7.3



星のように  
雨の降る日には  
空を泳ぐ魚になって  
どこまでも泳ぐのです

花のように  
光の歌う日には  
言葉を脱いで風になり  
どこまでも踊るのです

石のように  
心静かな日には  
星を支える大地になって  
いつまでも微笑んで過ごすのです

\*高知県日高村・めだか池湿地にて